

お手入れ方法について

保存版

部分汚れのお手入れのポイント

家庭内でのカーペットのシミの原因別の取り方です。

汚れの種類	シミ・汚れの取り方
紅茶 コーヒー類	水で固く絞ったタオルで拭く。生クリームやミルク入りのときは、薄い洗剤液で拭く。古いシミは、レモン片が酢で拭くと効果的。
コーラ (サイダー類)	オキシドールで拭くか、洗剤を入れたぬるま湯で拭く。
ビール・洋酒 日本酒	水またはぬるま湯を、布か綿棒に含ませて、シミを吸い取らせるような感じでたたく。ぬるま湯でも落ちない時は、アンモニアか中性洗剤で。
ジュース (果実汁)	汚れてすぐの時、水かぬるま湯を含ませた布で拭く。シミが残る時は、アンモニアか中性洗剤液で落とす。
牛乳・乳製品	温湯で拭き取り、跡が残るようならベンジンで軽く拭いてください。
茶	「紅茶」と同じ。古くなった茶漬は酢をつけ、オキシドールで拭く。
あめ (キャンディー類)	お湯に洗剤を溶かし、それで絞ったタオルで拭き取る。もし、跡が残っていたら、アルコールで軽く拭く。
卵	白身は洗剤溶液でたたき出す。黄身はベンジンなどで脂肪分を取り、白身と同様にたたき出す。熱湯はタンパク質を取れにくくなるので要注意。

汚れの種類	シミ・汚れの取り方
チューインガム	氷片でかためて取り、残ったものはベンジンでたたき出す。
チョコレート	ティッシュなどで拭いてから、先にベンジンでたたいて脂肪分を取る。その後、洗剤溶液でたたき出す。
アイスクリーム ジャム	粉末洗剤を山のように盛りあげ、ベトベトしたものを吸い取らせる。乾いてからブラシではねのけるか、掃除機の隙間ノズルで吸引。
カレー	水か湯で絞った布または綿棒でたたき出す。落ちなければ洗剤溶液（毛糸洗用）で同様にしてたたき出す。
ケチャップ	紙で拭き、酢で拭く。色が残ったらオキシドールで拭く。
スープ	洗剤をつけて絞ったタオルで拭く。
しょう油 ソース	ティッシュペーパーなどでできるだけ吸い取り、洗剤を入れたぬるま湯で拭く。
酢・歯みがき粉 みそ汁	「カレー」と同じ。
生クリーム バター マヨネーズ	ヘラでこすり取り、お湯を含ませた布で拭く。その後、洗剤液で拭く。まだ残るようならアルコールで。

*塩素系漂白剤、酸素系漂白剤を使わないこと。 *ここでいうアルコールは、市販の消毒用アルコール（エタノール）のこと。
*上記のお手入れ方法は、主にウール素材の場合に適しています。素材によっては、ダメージ（形状変化、色落ち、移染、脆化など）を与えることがあります。カーペットの端など、目立たないところでお試しになってからお手入れしてください。または、専門の業者にご相談することをおすすめします。

	汚れの種類	シミ・汚れの取り方
化学製品(化粧品)	口紅	アルコールでこすり取り、洗剤を入れたぬるま湯で拭く。
	クリーム(化粧用)	紙で拭いてから、アルコールで拭き、洗剤を入れたぬるま湯で拭く。
	香水・化粧水	石鹸水で拭く。
	マニキュア	マニキュアの除光液で注意深く取る。
	ファンデーション(お白粉を含む)	ティッシュペーパーで拭き、洗剤液で拭く。残る時、アルコールで拭く。
化学製品(インク・塗料・他)	インク(青・黒)	黒インクは洗剤で洗う。青インクは、ハイドロサルファイト(還元漂白剤 [※])の1%溶液を50~80℃にあたためたものに布か綿棒を浸し、たたき出す。 *刺激臭を発するので取り扱いに注意。
	インク(赤)	吸取紙で吸い取り、洗剤を溶かしたぬるま湯で拭く。 または10%のアルコールかオキシドールで拭く。
	印肉(朱肉)	食用油をつけて拭き、洗剤で油を拭き取る。拭き広げないように注意すること。
	クレヨン・靴墨	ひどい汚れはアルコールを歯ブラシにつけて、たたきようにして取る。 その後、ぬるま湯で拭く。
	ラッカー(塗料)	マニキュアの除光液がシンナーで拭く。
	墨	ごはん粒を練って糊状にし、シミの上のせて汚れを押し取るようにしてつまみ洗います。毛羽立ちやすい繊維は板の上のせてへらでこく。墨は拡散しやすいので要注意。

	汚れの種類	シミ・汚れの取り方
化学製品(インク・塗料・他)	ペンキ	油性のペンキはなるべく早くベンジンでたたき出す。完全に落とすのは難しい。カーペットなどの汚れは、テレピン油が市販のクリーナーで拭く。
	灯油	粉末洗剤をかけて、吸収させる。ブラシではらい、自然に蒸発させて乾かす。窓をあけると乾きやすくにおいもとぶ。
	乾電池から出た汚れ	汚れたらすぐに酢で拭く。
	ふん(犬・猫)赤ちゃんのそそう	塩をまいてベトベトしたものを吸い取らせ、5% アンモニア水で拭き、中性洗剤を入れたぬるま湯で仕上げます。
	血液	オキシドールで拭くと簡単。または、水洗いしてから石鹸かアルコールで洗い、アンモニア液に浸す。 古いシミもオキシドールで漂白。
その他	尿	お湯をかけながらタオルで何回か拭く。その後、酢で拭く。カーペットなどの時、それを少し浮かせて、しばらく風通しをよくしておく。
	かび	ブラシではらう。ひどい時は掃除機の隙間用ノズルで取り去る。その後、洗剤液で拭くか、アルコールで拭く。
	泥	よく乾かして指先で落としてからブラッシング。 その後、洗剤を入れたぬるま湯を含ませた布でたたき落としてから水で拭く。
	ろうそく	ティッシュペーパーを当てて、上からアイロンをかける。ウール以外の素材は、設定温度に注意。
	こげあと	ウールなどの天然素材の場合、スチールウールで表面を軽くこする。 その後、オキシドールを含ませたガーゼの上からアイロンをかけ漂白。
	サビ(鉄)	3% しゅう酸溶液またはハイドロサルファイト(還元漂白剤 [※])の温液を布に含ませ下に敷いた布にたたき出す。取れるまで繰り返す。 *刺激臭を発するので取り扱いに注意。

*塩素系漂白剤、酸素系漂白剤を使わないこと。 *ここでいうアルコールは、市販の消毒用アルコール(エタノール)のこと。
*上記のお手入れ方法は、主にウール素材の場合に適しています。素材によっては、ダメージ(形状変化、色落ち、移染、脆化など)を与えることがあります。カーペットの端など、目立たないところでお試しになってからお手入れしてください。または、専門の業者に相談することをおすすめします。